

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第27号

発行日 2024.12.20

2024年11月調査結果

“豊田の景況感、全国比で弱くなりながらの足踏み状態”

	現状判断 D I				先行き判断 D I				水準判断 D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	47.4	45.4	45.0	46.4	45.7	46.0	50.0	46.1	43.5	44.4	43.3	43.9
全国	49.6	48.5	49.9	49.4	49.5	48.4	50.8	49.4	46.9	47.6	48.8	47.3
東海	47.1	—	—	46.7	48.7	—	—	47.8	46.6	—	—	46.5

※全国、東海は内閣府11月調査 【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇：40～50点未満 / 雨：40点未満

## 2024年11月調査結果総括

現状の豊田における景況感は、前回の2024年5月調査から曇り模様での「横這い」状況となりました。要因としては景気モニターの声で多く挙げられている「物価高の影響」であることが引き続きはっきりと確認されています。所得には改善の兆しが見られるものの、消費者物価・企業物価の上昇分をカバー出来ていないことが景況感のマイナス要素として強く実感されている様子がうかがえます。また、自動車産業に影響を与えることが危惧されている米国大統領の政策動向や世界情勢の不透明性の高まりも、全国に比べ、車中心の生活が浸透している豊田では小さくない懸念材料と見られている様子が確認できました。

先行き見通しについては、落ち着く様相の見られないモノの値上がりや慢性的な人手不足、価格転嫁の難しさなどが相まって、引き続き、厳しい見方をしておられる様子が確認できました。他方、雇用におけるDIが50となっていますが、良くも悪くもなる材料がないためといった消極的な理由であり、総じて豊田における景況感の先行き見通しは、全国比でも慎重な結果となっています。

足元の景況感を示す水準判断では、「サービス」のみ全国と同値となり、「住宅」では大幅な景況感の悪化が確認できています。

今回の調査結果では全国比「劣位」の景況感にある業種が大半となり、景況感を慎重に見る傾向の強い豊田を再認識する結果となりました。

## 2024年11月特別調査結果

【所得見通し】 所得が増えていくことへの期待感の回答割合は、2019年5月コロナ禍前の水準 26.6%を超える 29.0%まで高まっています。  
【お小遣い調査】 増えているとの回答が減少し、変わらないとの回答が前回調査比 8.7%の大幅増となり足踏み状態であることを確認しています。  
【インパウンドの影響調査】 インパウンド増加の影響があるとの回答は全体の 20%、影響はないとの回答は 62%でした。豊田におけるインパウンドの生活への影響は、現段階では大きくない様子がうかがえます。なお、影響があると回答した人のうち、来店数や消費増を期待して良い影響があると回答した割合は 48.5%、治安悪化や行楽地、宿泊施設の価格高騰を理由として悪い影響があると回答した割合は 51.5%と拮抗しています。  
【金利のある時代の影響調査】 定期預金の金利が上がるといったコメントにより、良い影響があると回答した割合は 13.7%に留まり、住宅ローン金利や借入金金利の上昇により生活面や事業活動への悪い影響があると回答した割合は 86.3%にのぼり、極端な結果となっています。日本銀行による金利の引き上げなどに引き続き注視していく必要があります。  
【おいでんバスの利用状況調査】 利用したことがある割合は 38.5% となり、主に宴会や飲酒後の帰宅手段に利用され、通院や通学といった生活に欠かせない交通手段であることが確認できました。一方で、バス停や運行が少ないといった点で改善を求めるコメントも寄せられています。

1. 調査期間：2024年11月5日～29日

2. 調査客体：285名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：200名 / 有効回答率：70.2%

3. 調査項目：  
・ 2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断 D I  
・ 2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断 D I  
・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断 D I

4. D I 算出方法：

評価段階	5	4	3	2	1	
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0	

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それが D I 値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

# 総括

総合DI (豊田) 横這い



## ●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：不変 (曇→曇)

## ●全国は

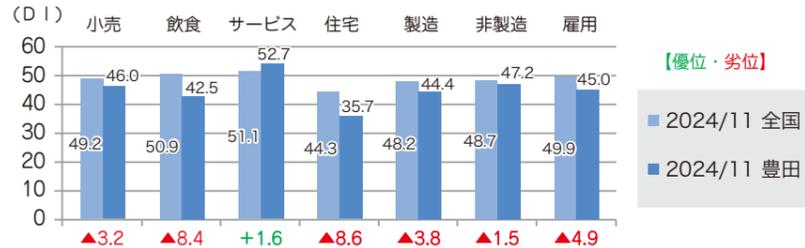
- ・総合：悪化 (優位→劣位)
- ・家計：悪化 (優位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：悪化 (優位→劣位)

# 業種別内訳

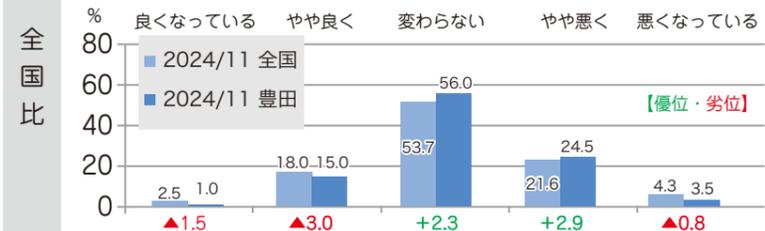
土地や建築資材の高騰による住宅関連の景況感悪化が際立っている



全国比、「飲食」「住宅」が弱く、物価上昇の悪影響を豊田は強く意識している様相



# 評価段階別内訳



# 景気モニター生の声

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

- + : 物価の上昇がお客様に徐々に浸透してきていて、以前より価格転嫁がしやすくなった。(住関連専門店経営者)
- + : 年末が近づいてきたのでお客様の動きが活発になってきている気がします。(その他小売店経営者)
- + : 競合他社の動きとしては増収、増益となっている所が多い。(輸送用機械従業員)
- + : コロナ明けから、しばらくの間は会話も購入意欲もマイナスな意見が多かった。最近は大きなお金が動く住宅改修や趣味の話も出る様になった。(家電量販店経営者)
- + : エネルギー等の様々な単価が高騰しているものの、消費意欲はあまり落ちていない様子。(通信会社社員)
- : 最近、月を追うごとに購買意欲が落ちている現状。(一般小売店経営者)
- : 物価上昇と将来的に不安材料が多いので節約傾向が強い。活気がある感じがしない。(レストラン経営者)
- : 来店店のスパンが伸びたり、ロケに物価高をなげいてみえる。(美容室経営者)
- : 自動車関連では認証問題等でモデルチェンジが延びており受注案件が少ない。(バルブ等製造業経営者)
- : 材料単価の高騰、人件費の上昇に、受注価格がなかなか追いついていかない。(通信業経営者)

# 現状判断

総合DI (豊田) 横這い



## ●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：良化 (曇→晴)

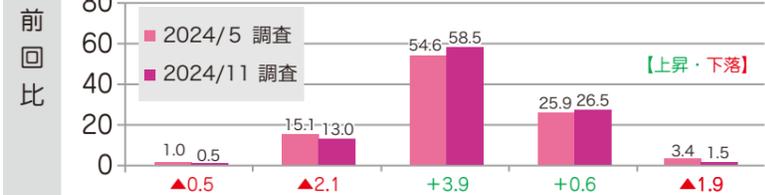
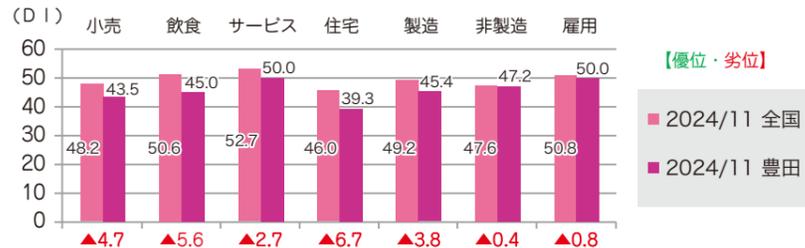
## ●全国は

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

「住宅」を除く他の家計動向にはやや改善の様子(前回は悪すぎた)が見取れる



全ての業種で全国比、先行き見通しは厳しいとの見方



< + : 回復感あり - : 回復感なし >

- + : 原価が高騰するものの受注価格も若干ではあるが上がり、期待も含めて好循環を見込む。(通信会社社員)
- + : 車の買い替えや家などを買う人が増えた。(美容室経営者)
- + : ペットを購入する顧客数が増えた。保護団体から譲渡する場合も含めて。(その他小売店経営者)
- + : 例年、この時期は受注量が増える。見積もりを作成した分が注文につながる。※希望的観測。(業業等経営者)
- + : 設備投資が増えている。(電気機械業経営者)
- : 家計の収入より物価の上昇の方が上回っているように実感する。今後の景気刺激策に期待です。(商店街代表者)
- : 食品・日用品の物価上昇、年末に向けた高揚感が薄い。WRCは盛り上がり良かったです!(輸送用機械従業員)
- : トヨタ自動車もトランプ大統領に影響を受けるかもしれない。景気が冷え込む覚悟でいかなければと思う。高齢化と人口減、商品の値上がりなど様々なことを考えれば、見通しは悪くなるばかり!(スーパー店長)
- : アメリカと日本のトップが交代して、為替、輸出入、さらに世界情勢がどのように変わっていくのか、全く不透明で先々が見えない。(住関連専門店経営者)
- : 知り合いの経営者との会話で設備の更新など、二の足を踏んでいるところが多い。(食品品製造業経営者)

# 先行き判断

総合DI (豊田) 横這い



## ●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：不変 (曇→曇)

## ●全国は

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

足元の景況感は「飲食」「サービス」を除き、前回の2024年5月調査から悪化



全国比、豊田における足元の景況感は弱い様相



# 自由回答：景気モニターからの貴重な声

- 先日ブルーインパルスの飛行がありました周りの反応がとても良く、老若男女問わず、みんなが空を見上げ歓声をあげている様子に感動し久しぶりに晴れやかな気持ちになりました。
- 定年も年金も65歳まで引き上げられたが、自営業には定年がなく高齢の自営業者に対する生活に密着する様々なセミナー(投資・節税・成功している地方の取り組み等)の開催を検討してほしい。
- 昨年秋に行った豊田市ベイベイ 20%還元はとても反響があったので今後もやっていただくとありがたい。人手不足と最低賃金上昇策として例えばハローワークから入社したら補助などあれば時給又は基本給を上乗せできる。
- 足助の県事務所の跡地を駐車場にしてほしい。
- 今後団地も空き家が増える。公的機関や信金の支援で、子供たちが将来豊田市に住み続けられる可能性、移住者が増える可能性が大きくなることを期待。また、若い人が小さくビジネスを始められる支援も期待。豊田市駅周辺だけでなく豊田市の各所に賑わいが生まれるように、空き店舗を借りる若者への支援も期待。
- 賃金や手取り金額を上げると頻りに言われていますが、私共零細企業では実際不可能であり、頭が痛いです。
- KITARAを何とかしましょう!車の街らしく、車のテーマパークのような施設にして家族連れなどが集う場所にしてほしい。

~ 貴重なご意見、ありがとうございました。 ~

# 水準判断

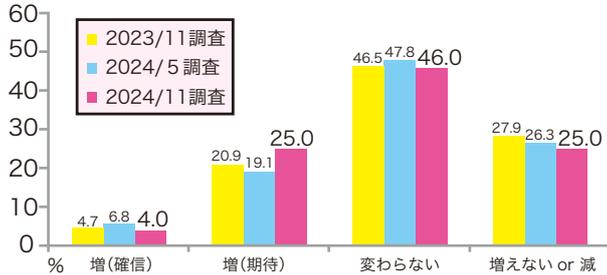
# 【特別調査】

## 所得見通し※ 消費意欲の調査

※2012年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？

所得増確信・期待者数の割合29.0%（前回25.9%）

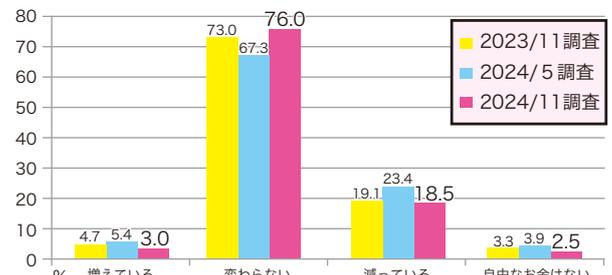


所得増への期待感は改善傾向

「コロナ禍」により10%台の水準に低位推移していた所得増への期待感が、前回25%を超え、今回調査も引き続き上昇しています。人手不足解消のための賃上げが行われているものと推察されますが、景況感の改善には結びついていません。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

“増えている”割合3.0%（前回5.4%）



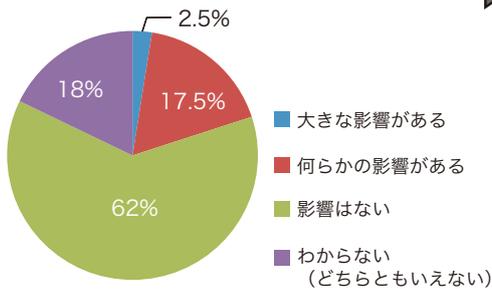
「お小遣い」が増えているとの回答が減少し、変わらないが増加

消費活動に直結する「お小遣い」については、増えているとの回答が減少（前回▲2.4%）し、変わらないが増加（同8.7%）しています。物価上昇もあり、消費活動の活発化はあまり期待できない状況にあることが推察されます。

## 年間300万人の過去最高を記録するインバウンドの影響調査

過去最高のインバウンド（訪日旅行）による消費額が月間6,500億円近い中において、生活への影響はありますか？

影響があるとの回答は20%



【良い影響があると回答 48.5%】

- ・お客様が増えることは良いこと（商店街代表者）
- ・御土産の購入がある（その他小売経営者）
- ・静かな町に人が来てくれるだけでありがたい（一般レストラン経営者）
- ・来訪者が増加することで景況感の改善に繋がると期待（都市型ホテル従業員）
- ・中国人の会社設立登記が増えている（司法書士）

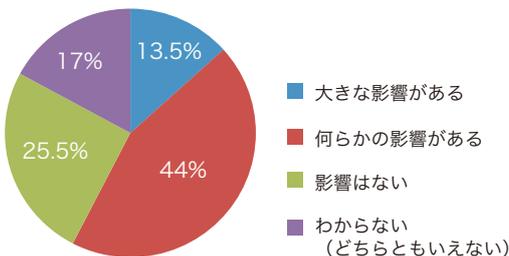
【悪い影響があると回答 51.5%】

- ・行楽地の価格の上昇、混雑、ゴミ問題、様々な問題が起きている（スーパー店長）
- ・主要都市、観光地の宿泊料の高騰、人手不足に拍車（通信業経営者）
- ・治安が心配（その他住宅関連従業員）
- ・インフレの誘導要因になる（金属製品製造業経営者）
- ・国や地域としてはいい影響があると感じますが、個人としては物価が上がったりして負担を感じている（輸送用機械従業員）

## 「金利のある時代」における生活や行動への影響調査

日本銀行による利上げにより「金利のある時代」に突入し始めている中において、生活や行動への影響はありますか？

影響があるとの回答は57.5%



【良い影響があると回答:13.7%】

- ・定期預金の金利が少しでも多くついてくれればうれしい（家電量販店経営者）
- ・金利上昇により円高になれば輸入資材が安く買えるようになると思う（金属製品経営者）

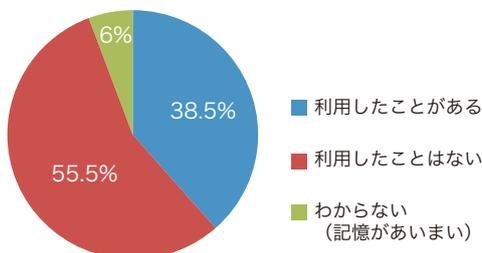
【悪い影響があると回答:86.3%】

- ・住宅ローン金利の上昇にて消費活動等に悪い影響が出る（タクシー運転手）
- ・住宅ローン金利が上がると仕事の受注にも影響が出る（建設業経営者）
- ・住宅や車のローンに影響が出ると個人消費が落ち込む恐れがある（その他小売経営者）
- ・僅かに金利が上がったところで利息を期待して預金をするようなことがないのに比べ、払う方の金利はもろに影響を及ぼす（レジャー施設従業員）
- ・借入により設備投資を行うことが減り、景気が減速する可能性がある（観光名所関係者）
- ・収入が上がる兆しを感じないまま金利負担だけが增加する（食品製品製造従業員）
- ・物価上昇&住宅金利の上昇は子育て世代にとっては死活問題（輸送用機械従業員）
- ・借入依存の高い会社は大変である（その他製造業経営者）

## 豊田市の広範をカバーする「おいでんバス」の利用状況調査

豊田市において、公共交通機関の柱として網の目のごとく運行している「おいでんバス」の利用状況は？

利用したことがあるとの回答は38.5%



利用頻度は「年に数回」の利用が66%



【利用目的に関して】

- ・利用したことがあると回答された景気モニターの方に具体的な利用目的を聞いたところ、宴会、飲酒した際の帰宅手段という回答が大半を占めました。その他、通院、通学、豊田スタジアムでのイベント参加時、雪の日の交通手段という回答も寄せられました。一方で、普段は不便で利用出来ないといった声も寄せられています。